

# 今までの暮らしをこれからも

あなたらしい心地よい暮らしとは



足羽利生苑は平成22年7月に、個室ユニットケアを開設しました。ユニット（入居者の方10人程度の少人数）ケアとは入居者の方がその人らしい暮らしを安心して送るために、一人ひとりの生活を大切にする家庭的ケアです。

『介護が必要な状態になつても、今までの暮らしを継続できること』を念頭におき、入居者の方がいつまでも自分らしく生活できる環境づくりの充実に向けた取り組みが始まりました。



就寝

自分の好きな時間に床につく。  
眠れないときはホットミルクを飲んだり、夜食を摂る。

## ☆Mさんの心地よい一日の過ごしかた☆

一日の流れの中心は入居者の方です。  
職員が入居者の方の暮らしに寄り添い、一緒に生活します。



食事&家事

起きたいときに起き、食べたいときに食べたい場所で、食べたいものを食べる。  
調理も行い、後片付けもする。



入浴

好きなタイミングで職員とマンツーマンにてゆっくりと入浴する。Mさん愛用のシャンプーやタオルを使用。



Mさん

お話好きで  
洋裁が得意



余暇活動

調理レクや知人との会話を楽しんだり、買い物に出かけたりもする。また自分の部屋で手芸や日記を書いて自由に過ごす。

ユニットケアは2階(かりん)・3階(なつめ)の各フロアで構成されます。

そこでは、みなさんのように過ごされているのでしょうか。また職員はどうな思いをもつて寄り添っているのでしょうか。

## いごこちのよい『家づくり』をめざして…

### 「家庭的ケア」

Eさん(3階・なつめ)

朝食の匂いに誘われて…お部屋から出て笑みをうかべ「お腹すいた」と全身で表現されます。これがEさんの一日の始まりです。好きなラジオを聴いたり、みなさんや職員と冗談を交えて楽しくお話しをされています。夕食の時には晩酌をするのが楽しみです。EさんがEさんらしく過ごされるよう、スタッフが一丸となつてかかわりをもち、思を受けとめていきたいと思います。

介護職員 伊藤 理恵



### 「その人らしく暮らす」

Sさんご夫妻(2階・かりん)

今まで使っていた家具や置き物に囲まれて、自宅での暮らしをそのままの形で続けています。奥様は「主人はとても器用な人だし、こんなものが好きなのよ」と教えてくださり、ご主人への愛情がひしひしと伝わってきます。またチラシでくずかごを作り、自分たちのできることを熱心にされています。私たちも温かく見守りながら、ご夫婦の生活を支援していきたいと思います。

介護職員 清水 弥生



### 「安心して暮らす」

Fさん(3階・なつめ)

にこやかでゆつたりとした雰囲気のFさん。入居当時、時々不安を訴えられましたが、今では一緒に家事を手伝ってくださいます。娘様は介護の研修に参加されたり、一緒に外出・外泊されたりと、Fさんへの温かい思いが伝わってきます。娘様と職員が「コミュニケーションを図ることで、Fさんの穏やかな日々への支援ができるています。これからもゆつたりとした時間の流れの中で、信頼関係を築いていきたいと思います。

介護職員 西野 舞子



## ユニットの 前進に向けて

平成22年7月に開設し

てから、入居者の方も職員も徐々にユニットでの生活になれ、ようやく落ちついてきましたが、戸惑うことまだまだ多くあります。

「どうしたら楽にいていただけるだろう」「その人らしい生活を続けていただきには何が必要なの

だろう」と日々試行錯誤を繰り返しています。

これまでの暮らしを続けていくには、地域とのつながりが重要です。足

羽利生苑ではこのつながりを絶やすことなく『地域に開かれた施設』として地域交流に今以上に取り組んでいきたいと考えています。

そして地域の方々が、足羽利生苑を身近に感じていただけるよう、職員一同目標に向かつて前進していくことを思っています。

足羽利生苑には、苑内の環境整備を目的とする營繕

一環として、全職員対象にエコにまつわる標語を募集しました。この標語を掲示することで、職員一人ひとりの省エネに対する意識を高めることができます。とてもユニークな応募があつたので、紹介します。

エコすると

めっちゃ工エコト  
あるかもね

介護職員 荒川 奈穂さん

けいこう灯

こまめに消して  
いいけいこう

介護職員 菅井 周一郎さん

## みんなの広場



楽しい標語で、省エネも期待できそうです♪